

教育委員会の事務点検・評価報告書

(令和3年度事業分)

令和4年9月

愛西市教育委員会

— 目 次 —

I.	点検・評価について	1
1	点検・評価の趣旨	1
2	点検・評価の対象	1
3	点検・評価の実施方法	1
4	点検・評価の構成	2
II.	方 針	3
III.	第2次愛西市総合計画施策基本計画体系図	6
IV.	施策体系図	7
V.	評価シート	10

【学校教育課】

方針1	多様な学習指導の充実	10
	開かれた学校づくり	16
	教職員の資質向上	18
方針2	いじめ・不登校対策の充実	19
	特別支援教育の充実	21
	就学援助費による保護者負担の軽減	23
方針3	教育施設の充実	24
	学校規模の適正化	27
	情報教育の推進	28

【生涯学習課】

方針4	生涯学習の充実	29
	文化財等の保護・活用	33
	文化・芸術活動の推進	36
	図書館サービスの推進	37

【スポーツ課】

方針5	スポーツ活動の振興	39
	地域スポーツ指導者の養成	43
	スポーツ団体の育成・自立支援	45
	スポーツ施設の活用の充実	47

【新型コロナウイルス感染症対策事業】

学校教育課	48
生涯学習課	49
スポーツ課	50

Ⅵ. 評価委員による意見	51
--------------	----

I. 点検・評価について

1. 点検・評価の趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項において、「教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない」とされています。

本報告書は、上記の規定に基づき、作成しました。

市教育委員会が管理・執行する事業の取り組み状況について点検・評価を実施することにより、効果的・効率的な教育行政の推進を図ります。

2. 点検・評価の対象

市の最上位計画である「第2次愛西市総合計画」では、将来都市像を「ひと・自然 愛があふれるまち」としており、教育分野においては、「一人ひとりの学びを支えるまちづくり」を基本目標に掲げています。

「第2次愛西市教育大綱」においても、総合計画に基づき家庭、地域、学校等の連携により本市の子どもたちを健やかに育むこと、生涯学習を通じて学習、文化・芸術活動、スポーツ活動に親しめる環境を充実すること、地域の歴史、文化、祭り等の継承への取組、を推奨しています。

本報告書は、基本目標を達成するため、令和3年度に市教育委員会が実施した56項目の事業と、新型コロナウイルス感染症対策として実施した4項目の事業を対象として、点検・評価を実施します。

3. 点検・評価の実施方法

市教育委員会では、市の将来像を実現するために5項目の方針を掲げて、方針に属する施策ごとに評価シートを作成し、施策を構成する主な事業の実施状況について点検・評価を実施しました。令和3年度に実施した各事業の活動を、A～Eの5段階で評価しています。

また、点検・評価にあたっては、有識者で構成される評価委員のご意見をいただきます。

《5段階評価の内容》

- A 目標を十分達成し、期待される効果が得られた（80%～100%）
- B 目標を概ね達成し、ほぼ期待通りの成果が得られた（60%～80%）
- C 目標を半分以上達成し、ある程度の成果が得られた（50%～60%）
- D 目標をあまり達成できず、成果が少なかった（30%～50%）
- E 目標をほとんど達成できず、成果が無かった（30%未満）

4. 点検・評価の構成

(1) 基本方針

施策の目指す基本方針を掲げています。

(2) 事業実施状況

施策（事業）の目標達成に向けて、当該年度を含む過去３年間の事業の主な取り組みを記載しています。

(3) 教育委員会による評価（自己評価）

令和３年度に実施した主な取り組みに対する自己評価を、Ａ～Ｅの５段階で記載しています。

(4) 成果並びに今後の課題

令和３年度までの事業の成果と今後の課題を記載しています。

(5) 評価委員による意見

基本方針ごとに委員の方々からいただいた主なご意見を記載しています。

Ⅱ. 方 針

方針1…豊かな心や創造性を活かした「学び」を育むため、新しい時代を生きるために必要な資質・能力を高めます。

- 多様な学習指導の充実
児童生徒一人ひとりが確かな学力を身につけられるよう、個に応じたきめ細やかな指導を充実します。グループ学習や少人数指導に対応できるよう、教職員の適正配置に努めます。
- 開かれた学校づくり
保護者や学校評議員をはじめとする地域住民の意見を幅広く取り入れ、地域に根差した特色ある開かれた学校づくりを推進します。
また、地域学習によりコミュニティとの連携を進めることで、郷土を愛し、地域に貢献できる児童生徒の育成を目指します。
- 教職員の資質向上
教職員の意識改革や資質・指導力の向上を図るため、授業研究をはじめとする教職員研修の充実を図ります。

方針2…豊かな心や創造性を活かした「学び」を支えるため、学びに向かう力・人間性の涵養に努め、児童生徒の支援をします。

- いじめ・不登校対策の充実
いじめの未然防止、早期発見のためのアンケート実施や面談の充実を図ります。また、不登校児童生徒の学力向上や社会性の涵養に努めます。
- 特別支援教育の充実
障害のある児童生徒が、地域の学校でそれぞれの個性や能力に応じた教育が受けられるよう、適切な学習支援や自立支援を行います。
- 就学援助費による保護者負担の軽減
経済的な理由によって就学困難な児童生徒の保護者に対し、必要な援助を行い、児童生徒の就学を支援します。

方針3…豊かな心や創造性を活かした「学び」を繋ぐため、最適な教育環境をつくり、学校施設の整備に努めます。

- 教育施設の充実
時代に即した学校施設の環境実現に向けて、必要に応じ計画的に改修工事等を実施します。
- 学校規模の適正化
児童生徒の「学ぶ力」や「生きる力」を養うために学校規模の適正化を推進します。また、学校施設に関する諸問題を調査し、施設自体の適

正性を保つために老朽化対策について検討します。

○ 情報教育の推進

学校生活や授業等に活用できるよう、大型提示装置の導入や無線LANの整備を進め、学校におけるICT環境を整備します。

方針4…一人ひとりが豊かな人生を送ることができるよう、生涯を通して意欲的に「学び」が出来る環境の整備に努めます。

○ 生涯学習の充実

市民の様々な学習ニーズに対応できるよう生涯学習の機会を提供し、環境を整えます。また、地域と協力し、次世代を担う青少年の健全育成活動を推進します。

○ 文化財等の保護・活用

郷土の文化を後世に正しく継承できるよう、文化財等の資料収集・整理を行い適正な調査・記録を行います。また、市民が地域の歴史に対し、知識を得、持続発展できる機会の充実を図ります。

○ 文化・芸術活動の推進

一人ひとりが意欲的に豊かな人生を送ることができるよう、文化祭等の成果発表の場を提供します。また文化協会をはじめとする文化・芸術を行う団体の活動を支援します。

○ 図書館サービスの推進

図書館が地域の生涯学習拠点となるよう、蔵書の充実や市民に対する情報提供の向上を図ります。また、市民の学習ニーズや子どもの読書離れ解消に対応し、様々な事業を行います。

方針5…「学び」を通して、健やかな心身を育み、継続するための「活動」を支援し、生涯にわたってスポーツに親しめる環境づくりを推進します。

○ スポーツ活動の振興

幅広い世代が参加できるスポーツ活動の普及に向け、愛西市総合型地域スポーツクラブ等の活性化や、地区市民体育大会の開催、スポーツ推進委員によるスポーツイベント等を促進します。また、ニュースポーツやレガッタ等特色あるスポーツの普及を図ります。

○ 地域スポーツ指導者の養成

各種団体活動や、スポーツ推進委員の活動を通じた指導力の向上を促進します。また、指導者の養成を図るため、研修や教室への参加を促すことで、指導力の向上を図ります。

○ スポーツ団体の育成・自立支援

愛西市スポーツ協会と愛西市総合型地域スポーツクラブの活動を支援

するとともに、組織の自立的な運営を促進します。

○ スポーツ施設の活用の充実

スポーツ施設に指定管理者制度を導入することで、市民目線に立った効率的・効果的な管理・運営に努めます。また国際的なスポーツイベントに伴うキャンプ誘致施設としての活用を積極的に進めます。

※ 新型コロナウイルス感染症対策事業

世界的な新型コロナウイルス感染症の拡大は、令和2年度に引き続き令和3年度も、教育の場を含めて社会全体に非常に大きな影響を与えました。

市教育委員会も多くの事業で延期や縮小、中止を余儀なくされましたが、経済的支援や新しい生活様式への対応など各課で新型コロナウイルス感染症対策事業を実施しました。

Ⅲ. 第2次愛西市総合計画施策基本計画体系図

分類	基本目標	施策
1－(1)	良好な環境を未来につなげるまちづくり	地域コミュニティの組織力強化
1－(2)	良好な環境を未来につなげるまちづくり	市民協働によるまちづくりを進める環境整備
1－(3)	良好な環境を未来につなげるまちづくり	環境に優しいまちづくり
1－(4)	良好な環境を未来につなげるまちづくり	生活環境の改善
2－(1)	みんなでつくる安全・安心なまちづくり	地域ぐるみの防災・減災対策の推進
2－(2)	みんなでつくる安全・安心なまちづくり	防犯活動の推進
2－(3)	みんなでつくる安全・安心なまちづくり	消防・防火対策の推進
2－(4)	みんなでつくる安全・安心なまちづくり	交通安全対策の推進
3－(1)	心身ともに健やかなまちづくり	生涯、いきいきと暮らせる健康づくりの推進
3－(2)	心身ともに健やかなまちづくり	医療体制の充実
3－(3)	心身ともに健やかなまちづくり	社会保険の安定的運営
3－(4)	心身ともに健やかなまちづくり	子育て支援の充実
3－(5)	心身ともに健やかなまちづくり	障害者(児)福祉の推進
3－(6)	心身ともに健やかなまちづくり	介護・高齢者福祉の推進
3－(7)	心身ともに健やかなまちづくり	生活自立の推進
4－(1)	活力とにぎわいあふれるまちづくり	商工業、新規産業の振興
4－(2)	活力とにぎわいあふれるまちづくり	農業の振興
4－(3)	活力とにぎわいあふれるまちづくり	農業生産基盤の整備
4－(4)	活力とにぎわいあふれるまちづくり	観光の振興
5－(1)	快適で便利なまちづくり	道路網の整備
5－(2)	快適で便利なまちづくり	公共交通網の整備・充実
5－(3)	快適で便利なまちづくり	公園、緑地の整備
5－(4)	快適で便利なまちづくり	計画的なまちづくりの推進
6－(1)	一人ひとりの学びを支えるまちづくり	学校教育の推進
6－(2)	一人ひとりの学びを支えるまちづくり	生涯学習、文化、スポーツ活動の推進
7－(1)	市民に信頼される、安定した行財政運営	行政サービスの向上
7－(2)	市民に信頼される、安定した行財政運営	公共施設等の管理・運営
7－(3)	市民に信頼される、安定した行財政運営	行財政運営の推進
7－(4)	市民に信頼される、安定した行財政運営	地域情報化の推進と広域連携の推進

IV. 施策体系図

学校教育課	
多様な学習指導の充実	
	児童生徒芸術鑑賞
	修学旅行児童生徒旅費
	学校給食費負担事業
	交通教育
	防災訓練
	非常勤講師派遣事業
	ALT講師配置事業
	学校活動総合事業
開かれた学校づくり	
	食についての正しい知識の啓発
	学校評議員設置事業
	PTA活動運営・PTA連絡協議会
教職員の資質向上	
	社会科研究事業
いじめ・不登校対策の充実	
	適応指導教室事業
	いじめ問題対策事業
特別支援教育の充実	
	特別支援教育就学奨励事業費
	特別支援教育支援員の配置
就学援助費による保護者負担の軽減	
	私立高等学校授業料等補助事業
	就学援助事業
教育施設の充実	
	通学路の安全点検
	防犯ブザー配付事業及び防災等情報メール配信システム運用事業
	学校施設環境整備事業
	愛西市学校給食センター整備・運営事業
	学校空調整備事業
学校規模の適正化	
	小中学校適正化事業
	小中学校施設老朽化対策検討事業
情報教育の推進	
	小中学校ICT事業
	小中学校GIGAスクール事業

生涯学習課	
	生涯学習の充実
	生涯学習施設の維持管理事業
	指定管理者制度推進事業
	生涯学習推進事業
	青少年育成事業
	家庭教育推進事業
	婦人団体育成事業
	土曜日の教育活動推進事業
	文化財等の保護・活用
	文化財等保護保存事業
	文化財民俗芸能保護保存事業
	文化財啓発事業
	ユネスコ無形文化遺産「市江車行事」啓発事業
	文化・芸術活動の推進
	文化芸術団体育成事業
	図書館サービスの推進
	図書館整備充実事業
	図書館資料提供事業
	子ども読書活動推進計画事業

スポーツ課	
	スポーツ活動の振興
	高齢者スポーツ開催事業 さわやかウォーキング
	高齢者スポーツ開催事業 エクササイズ
	スポーツ教室開催事業
	ニュースポーツフェスティバル開催事業
	スポーツ推進計画推進事業
	スポーツ教室推進
	スポーツイベント開催
	地域スポーツ指導者の養成
	スポーツ推進委員活動事業
	地域スポーツ推進員育成(スポーツ指導者)
	スポーツ団体の育成・自立支援
	地区市民体育大会助成事業
	スポーツ協会補助事業
	総合型地域スポーツクラブ助成事業
	スポーツ施設の活用の充実
	スポーツ施設等指定管理者事業
	体育施設整備事業

新型コロナウイルス感染症対策事業		
	学校教育課	
		小中学校給食費無償化等事業
		学校保健特別対策事業
	生涯学習課	
		社会教育施設感染症拡大防止事業
	スポーツ課	
		スポーツ施設予約システム導入事業

V. 評価シート

(令和4年度)

方針番号	方 針 内 容	担当課	学校教育課
1	豊かな心や創造性を活かした「学び」を育むため、新しい時代を生きるために必要な資質・能力を高めます。		
基本方針	1. 多様な学習指導の充実		

事務事業番号	1-1-		
事務事業名	クラブ活動事業	新規/継続	
対象		目的	
事業概要	令和3年度より学校活動総合事業に統合		
事業実施状況	R1	R2	R3
	小学校12校 事業費 744,000円 中学校 6校 事業費2,268,000円	小学校12校 事業費 744,000円 中学校 6校 事業費1,890,000円	
財政計画	事業費(千円)	3,012	2,634
	財源内訳		
	国県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
教育委員会の評価	一般財源	3,012	2,634
		C	C
成果並びに今後の課題			

事務事業番号	1-1-1		
事務事業名	児童生徒芸術鑑賞	新規/継続	継続
対象	市立小中学校の児童生徒	目的	保護者負担の軽減と授業内容の充実を図る。
事業概要	小中学校へ芸術鑑賞費用の補助金を交付する。 380円/児童生徒1人（下限:90,000円/小学校 114,000円/中学校）		
事業実施状況	R1	R2	R3
	・小学校12校3,001人 事業費1,323,820円 ・中学校 6校1,653人 事業費 785,080円	・小学校3校846人 事業費391,660円 ・中学校 2校794人 事業費 318,060円	・小学校6校1,569人 事業費704,660円 ・中学校 5校1,314人 事業費 650,180円
財政計画	事業費(千円)	2,109	710
	財源内訳		
	国県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
教育委員会の評価	一般財源	2,109	710
		B	B
成果並びに今後の課題	少子化による児童生徒数の減少が進む中でも、補助額の下限を設けることで、学校規模に関わらず同じような芸術鑑賞会を開催することができ、児童生徒の豊かな感受性の醸成を図ることができた。保護者負担軽減のため、補助は有用である。		

事務事業番号			1－1－2			
事務事業名			修学旅行児童生徒旅費		新規/継続	継続
対象			市立小中学校の児童・生徒のうち修学旅行対象者	目的	歴史や文化の体感・見聞を広め、集団行動を経験することによる責任感と協力性を養うとともに、保護者負担の軽減を図る。	
事業概要			修学旅行費用として補助金を交付 3,000円/小学生1人 4,500円/中学生1人			
事業実施状況			R1	R2	R3	
			・小学校6年生519人 事業費 1,557,000円 ・中学校3年生601人 事業費 2,704,500円	・小学校6年生556人 事業費 1,668,000円 ・中学校3年生536人 事業費 2,412,000円	・小学校6年生536人 事業費 1,608,000円 ・中学校3年生554人 事業費 2,493,000円	
財政計画	事業費(千円)		4,262	4,080	4,101	
	財源内訳	国県支出金	0	0	0	
		地方債	0	0	0	
		その他	0	0	0	
		一般財源	4,262	4,080	4,101	
教育委員会の評価			B	B	B	
成果並びに今後の課題			一定の費用負担を求められる修学旅行においてその補助を行うことにより、保護者の負担軽減を行った。 保護者負担軽減のため、補助は有用である。			

事務事業番号			1－1－3			
事務事業名			学校給食費負担事業		新規/継続	継続
対象			市立小中学校の児童生徒	目的	保護者の経済的な負担を軽減する。	
事業概要			学校給食費の1食あたり10円を負担			
事業実施状況			R1	R2	R3	
			816, 187食に対し、負担した。	給食費が無償化されたため、負担しなかった。	353, 593食に対し負担した。	
財政計画	事業費(千円)		8,162	0	3,536	
	財源内訳	国県支出金	0	0	0	
		地方債	0	0	0	
		その他	0	0	0	
		一般財源	8,162	0	3,536	
教育委員会の評価			C	－	C	
成果並びに今後の課題			給食費が6月から12月まで無償化されたため、負担額が減少した。 食品の価格変動に対し、これまで調理方法等で対応してきたが、近年の状況等を鑑み、学校給食費の見直しを今後行っていく必要がある。			

事務事業番号			1－1－4			
事務事業名			交通教育		新規/継続	新規
対象			市立小中学校の児童生徒	目的	交通ルール・交通モラルを学び、児童生徒の交通安全意識を高める。	
事業概要			小中学校における交通安全教室の実施			
事業実施状況			R1	R2	R3	
			交通安全教室 16回	交通安全教室 6回	交通安全教室 15回	
財政計画	事業費(千円)		0	0	0	
	財源内訳	国県支出金	0	0	0	
		地方債	0	0	0	
		その他	0	0	0	
		一般財源	0	0	0	
教育委員会の評価			C	C	C	
成果並びに今後の課題			雨天時の代案など実施されていない学校への開催依頼 令和3年度は6件の交通事故が報告されており、今後も啓発を強化していく必要がある。			

事務事業番号		1－1－5			
事務事業名		防災訓練		新規/継続	継続
対象		市立小中学校の児童生徒	目的	地震、火災等の自然災害から身を守り、より防災意識を高める。	
事業概要		小中学校において地震・火災・洪水による避難訓練、防災講話などを実施する。			
事業実施状況		R1	R2	R3	
		地震18校 火災18校 津波12校 洪水8校 浸水5校 訓練回数90回	地震17校 火災16校 津波10校 洪水8校 浸水5校 訓練回数92回	地震18校 火災16校 津波9校 洪水7校 浸水4校 訓練回数95回	
財政計画	事業費(千円)		0	0	0
	財源内訳	国県支出金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		その他	0	0	0
		一般財源	0	0	0
教育委員会の評価		C	C	C	
成果並びに今後の課題		消防署等の指導機関が参加したり、保護者や地域の人も参加する訓練が増えてきた。体験型の訓練を実施して、防災意識を高めていきたい。			

事務事業番号			1－1－6			
事務事業名			非常勤講師派遣事業		新規/継続	継続
対象			市立小中学校の児童生徒	目的	児童生徒の基礎学力向上及びきめ細やかな指導の充実	
事業概要			個に応じた学習指導や課題別コース学習等、個性重視の教育を推進する授業を推進する授業改善を目指し、学級(教科)担任とともに少人数指導やチームティーチング授業を行う。 また、学校行事等における教育活動の補助及び児童生徒の集団生活への適応指導の補助を行う。			
事業実施状況			R1	R2	R3	
			全校19名 配当時間 小学校12校:3,794時間 中学校6校:2,352時間	全校27名 配当時間 小学校12校:4,471時間 中学校6校:2,352時間 コロナ対応 児童生徒学習支援対策:2,802時間	全校22名 配当時間 小学校12校:4,531時間 中学校6校:2,352時間 追加配当:361時間	
財政計画	事業費(千円)		14,056	20,019	16,036	
	財源内訳	国県支出金	0	6,242	0	
		地方債	0	0	0	
		その他	0	0	0	
		一般財源	14,056	13,777	16,036	
教育委員会の評価			A	A	A	
成果並びに今後の課題			学校現場は、チームティーチングや少人数指導、特別な教育的配慮の必要な児童生徒への指導等を充実させるための配当増を希望しているため、実態の把握と教員の適正配置について県への要望を含めて継続的に検討していく必要がある。			

事務事業番号		1－1－		
事務事業名		スクールサポート事業		新規/継続
対象			目的	
事業概要		令和3年度より特別支援教育支援員に統合		
事業実施状況		R1	R2	R3
		援助の必要な児童生徒の在籍する学校へ、スクールサポート講師を派遣する。	援助の必要な児童生徒の在籍する学校へ、スクールサポート講師を派遣する。	
財政計画	事業費(千円)		2,685	3,047
	財源内訳	国県支出金	0	0
		地方債	0	0
		その他	0	0
		一般財源	2,685	3,047
教育委員会の評価		A	A	
成果並びに今後の課題				

事務事業番号		1－1－		
事務事業名		総合学習活動事業		新規/継続
対象			目的	
事業概要		令和3年度より学校活動総合事業に統合		
事業実施状況		R1	R2	R3
		小学校12校 事業費2,375,000円 中学校6校 事業費1,241,250円	小学校12校 事業費2,368,000円 中学校6校 事業費1,212,750円	
財政計画	事業費(千円)		3,617	3,581
	財源内訳	国県支出金	0	0
		地方債	0	0
		その他	0	0
		一般財源	3,617	3,581
教育委員会の評価		B	B	
成果並びに今後の課題				

事務事業番号			1－1－7			
事務事業名			ALT講師配置事業		新規/継続	継続
対象			市立小中学校	目的	児童・生徒の外国語によるコミュニケーション能力の向上や国際感覚を養成	
事業概要			委託事業 18小中学校に外国語指導助手6人を派遣し、外国人による英語教育を実施			
事業実施状況			R1	R2	R3	
			延日数:小636.5日 中352日	延日数:小1,148日 中401日	延日数:小1,046日 中462日	
財政計画	事業費(千円)		26,324	29,744	29,744	
	財源内訳	国県支出金	0	0	0	
		地方債	0	0	0	
		その他	0	0	0	
		一般財源	26,324	29,744	29,744	
教育委員会の評価			B	B	B	
成果並びに今後の課題			効果測定の手法を検討する必要がある。 令和4年度以降も引き続き外国語指導助手を派遣し、児童生徒の外国語教育の向上に努めていく。			

事務事業番号			1－1－8			
事務事業名			学校活動総合事業		新規/継続	新規
対象			市立小中学校の児童生徒	目的	教職員の研修事業、クラブ活動事業、児童生徒指導、総合学習活動事業に関する学校活動の促進を図る。	
事業概要			現職教育研修、クラブ活動、生徒指導、総合学習活動の費用へ補助金を交付 小学校:90,000円/校＋8,500円/クラス＋1,500円/教職員＋3,500円/クラブ 中学校:250,000円/校＋30,000円/クラス＋1,500円/教職員＋20,000円/クラブ			
事業実施状況			R1	R2	R3	
					小学校12校 事業費 4,017,800円 中学校 6校 事業費 6,107,600円	
財政計画	事業費(千円)		0	0	10,126	
	財源内訳	国県支出金	0	0	0	
		地方債	0	0	0	
		その他	0	0	0	
		一般財源	0	0	10,126	
教育委員会の評価					B	
成果並びに今後の課題			令和2年度まで個別で補助金を交付していた現職教育研修事業、クラブ活動事業、生徒指導事業、総合学習活動事業を、学校がより柔軟に学校活動の促進を図れるようにするため、令和3年度に補助事業を統合 実績報告から、補助対象の制限をうけることなく重点事業に補助を充当するなど、より柔軟な補助金活用が見受けられた。			

(令和4年度)

方針番号	方 針 内 容	担当課	学校教育課
1	豊かな心や創造性を活かした「学び」を育むため、新しい時代を生きるために必要な資質・能力を高めます。		
基本方針	2. 開かれた学校づくり		

事務事業番号		1-2-1		
事務事業名		食についての正しい知識の啓発		新規/継続 継続
対象		市立小中学校の児童生徒	目的	食事や食習慣についての正しい知識の普及
事業概要		毎月1回献立表・給食だよりを発行 給食時に栄養指導を実施		
事業実施状況		R1 毎月1回「献立表」「給食だより」を発行 給食指導、授業の実施 広報誌へ給食レシピを掲載	R2 毎月1回「献立表」「給食だより」を発行 給食指導、授業を実施 広報誌に給食レシピを掲載 学校給食の魅力を伝えてくれるような「給食キャラクター」を募集 愛西市産の農産物を利用した給食レシピを募集し、給食で提供	R3 毎月1回「献立表」「給食だより」を発行 給食指導、授業を実施 広報誌に給食レシピを掲載 愛西市産の農産物を利用した給食レシピを募集し、レシピ集を発行するとともに給食で提供
財政計画	事業費(千円)	0	0	0
	財源内訳			
	国県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
教育委員会の評価		C	B	B
成果並びに今後の課題		一人ひとり生涯を通じた健康づくりの推進を目指し、食事や食習慣についての正しい知識の普及を図るため、他機関とともに各種啓発事業を行った。 食に関する教育は、学校給食の現場から学校の食育へと移行していくと考えられるが、当面は本事業を継続していく。		

事務事業番号			1－2－2			
事務事業名			学校評議員設置事業		新規/継続	継続
対象			市立小中学校	目的	保護者や地域の意見を学校経営に反映し、特色ある教育活動を展開する。	
事業概要			小中学校に学校評議員を設置し、評議員会や個別に意見を聴取する。			
事業実施状況			R1	R2	R3	
			18校 84人 事業費 565,500円	18校 85人 事業費 352,000円	18校85人 事業費 338,000円	
財政計画	事業費(千円)		566	352	338	
	財源内訳	国県支出金	0	0	0	
		地方債	0	0	0	
		その他	0	0	0	
		一般財源	566	352	338	
教育委員会の評価			C	C	C	
成果並びに今後の課題			令和2年度に引き続き令和3年度も新型コロナウイルスの影響で、例年に比べ会議回数が減少し、評議員の意見を聞く機会が減少した。 長期にわたり評議員となっている方もみえるため、令和4年度以降は、評議員の入れ替えを促し、学校経営をより良いものとする。			

事務事業番号			1－2－3			
事務事業名			PTA活動運営・PTA連絡協議会		新規/継続	継続
対象			市立小中学校PTA	目的	PTA活動の育成と促進、及び運営費の軽減	
事業概要			各学校のPTA活動に対して補助金を交付 80,000円/校+150円/児童生徒1人			
事業実施状況			R1	R2	R3	
			・小中学校18校 事業費2,253,100円	・小中学校18校 事業費2,130,450円	・小中学校18校 事業費2,214,000円	
財政計画	事業費(千円)		2,254	2,131	2,214	
	財源内訳	国県支出金	0	0	0	
		地方債	0	0	0	
		その他	0	0	0	
		一般財源	2,254	2,131	2,214	
教育委員会の評価			C	C	C	
成果並びに今後の課題			PTA活動運営費の軽減を図り、PTA活動の育成と促進を図った。 PTAの在り方や実際の活動をもとにして、本事業を検討する必要がある。			

(令和4年度)

方針番号	方 針 内 容	担当課	学校教育課
1	豊かな心や創造性を活かした「学び」を育むため、新しい時代を生きるために必要な資質・能力を高めます。		
基本方針	3. 教職員の資質向上		

事務事業番号	1-3-		
事務事業名	現職教育研修事業	新規/継続	
対象		目的	
事業概要	令和3年度より学校活動総合事業に統合		
事業実施状況	R1	R2	R3
	18校 事業費 1,018,000円	18校 事業費 1,026,000円	
財政計画	事業費(千円)	1,018	1,026
	財源内訳		
	国県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
教育委員会の評価	一般財源	1,018	1,026
	C	C	
成果並びに今後の課題			

事務事業番号	1-3-1		
事務事業名	社会科研究事業	新規/継続	継続
対象	社会科副読本編集委員 (小学校社会科教職員代表)	目的	より良い社会科副読本の作成
事業概要	社会科副読本作成のための調査費、消耗品費、印刷製本費等の経費へ補助金を交付 50,000円/校		
事業実施状況	R1	R2	R3
	事業費 50,000円	事業費 50,000円	事業費 50,000円
財政計画	事業費(千円)	50	50
	財源内訳		
	国県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
教育委員会の評価	一般財源	50	50
	C	C	C
成果並びに今後の課題	社会科副読本作成のための調査費、消耗品費、印刷製本費等の経費を援助した。 令和7年度の、より良い社会科副読本の改訂版作成に向けて調査、準備を進めるために、補助を継続する。		

(令和4年度)

方針番号	方 針 内 容	担当課	学校教育課
2	豊かな心や創造性を活かした「学び」を支えるため、学びに向かう力・人間性の涵養に努め、児童生徒の支援をします。		
基本方針	1. いじめ・不登校対策の充実		

事務事業番号		2－1－1			
事務事業名		適応指導教室事業		新規/継続	継続
対象		市立小中学校在籍で学校に通えなくなった児童生徒	目的	集団生活に馴染み学校へ復帰できる力、及び将来社会で自立できる力を養う。	
事業概要		適応指導教室「すまいる」を市内2か所に設置、運営			
事業実施状況		R1	R2	R3	
		不登校児の実態把握と対策の検討 不登校児の立場に立った適応指導相談事業・関係機関との連携 R1より佐織地区に教室を増設	不登校児の実態把握と対策の検討 不登校児の立場に立った適応指導相談事業・関係機関との連携 専門的な知見を持った会計年度任用職員を2名増員	不登校児の実態把握と対策の検討 不登校児の立場に立った適応指導相談事業・関係機関との連携 夏休みの相談体制 学校との連携強化	
財政計画	事業費(千円)		10,469	15,378	14,687
	財源内訳	国県支出金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		その他	0	0	0
		一般財源	10,469	15,378	14,687
教育委員会の評価		C	C	B	
成果並びに今後の課題		市内の小中学校に在籍する学校になじめない児童生徒が、少しでも早く学校復帰できるよう専任指導員による個々の実態に応じた指導を行った。 長期休業中(夏休み)も所長もしくは室長を配置し、相談対応できる体制をとった。 所長及び室長が小中学校の生徒指導部会にオブザーバーとして出席し、学校から相談しやすい体制を整え、対象児童生徒の早期把握に努めることができた。 すまいるには来室できるが、時間等の枠組みに馴染まない児童生徒への対応、すまいるに限らずフリースクール等、家庭の外とのつながりが持ていない児童生徒への対応、発達支援センターとの連携が課題			

事務事業番号		2-1-2		
事務事業名		いじめ問題対策事業		新規/継続
対象		市内小中学校児童生徒、保護者、教職員、関係機関	目的	いじめの未然防止、早期発見・早期対応、重大事態に関する調査、および連携、啓発
事業概要		愛西市いじめ問題対策連絡協議会の実施、県スクールカウンセラー(SC)事業の活用、「Q-U」及びいじめに関するアンケート調査の実施、重大事態に係る調査の実施		
事業実施状況		R1	R2	R3
		SC派遣 18校9名 いじめ問題対策連絡協議会 Q-U いじめに関するアンケート(6回) いじめに関する調査委員会(5回)	SC派遣 18校9名 いじめ問題対策連絡協議会 Q-U いじめに関するアンケート(6回)	SC派遣 18校9名 いじめ問題対策連絡協議会 Q-U いじめに関するアンケート(6回)
財政計画	事業費(千円)	26	26	26
	財源内訳			
	国県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
		一般財源	26	26
教育委員会の評価		B	B	B
成果並びに今後の課題		いじめ問題対策連絡協議会を開催し、関係機関の連携を図る。 令和元年度から、いじめに関するアンケートの内容を市内で統一し、実施回数を年6回に増やした。いじめの認知件数は増加しているが、いじめの「芽」の段階から認知されることで、早期に教職員が対応に当たることができている。 第三者による調査委員会設置に関する規定が無いため、専門委員会・調査委員会の設置を含めた、いじめ問題対策連絡協議会等条例の制定を予定		

(令和4年度)

方針番号	方 針 内 容	担当課	学校教育課
2	豊かな心や創造性を活かした「学び」を支えるため、学びに向かう力・人間性の涵養に努め、児童生徒の支援をします。		
基本方針	2. 特別支援教育の充実		

事務事業番号		2-2-1			
事務事業名		特別支援教育就学奨励事業費		新規/継続	継続
対象		市立小中学校の特別支援学級に在籍する児童生徒の保護者	目的	保護者の経済負担を軽減するとともに、特別支援教育の普及奨励を図る。	
事業概要		経済的な負担能力に応じて、学用品費等の一部を支援する。			
事業実施状況		R1	R2	R3	
		小学生 57人 中学生 24人	小学生 57人 中学生 28人	小学生 66人 中学生 30人	
財政計画	事業費(千円)		3,156	1,347	2,324
	財源内訳	国県支出金	1,557	451	1,161
		地方債	0	0	0
		その他	0	0	0
		一般財源	1,599	896	1,163
教育委員会の評価		C	C	C	
成果並びに今後の課題		対象者への制度周知を行った。 学用品費は領収書が必要となることから、周知の際に分り易い文書とする必要がある。 インターネットでの購入者も見受けられ、その場合の提出方法も検討を要する。			

事務事業番号			2-2-2			
事務事業名			特別支援教育支援員の配置		新規/継続	継続
対象			市立小中学校在籍の障害等により支援を必要とする児童生徒 日本語以外の母語を持ち、支援を必要とする児童生徒	目的	日常生活動作の介助、学習活動上の支援等や周囲の児童生徒の理解促進に努め、当該児童生徒の学校生活適応を促す。	
事業概要			支援員を配置し、学級担任及び保護者と連携して、学習活動、教室間移動等における介助、基本的生活習慣確立のための日常生活上の介助、対象児童生徒の健康・安全確保及び周囲の児童生徒の障害理解や日本語以外の母語を持つ児童生徒の文化的背景等の理解を促進する。			
事業実施状況			R1	R2	R3	
			17校31名の特別支援教育支援員を配置した。(賃金は人事課で計上。出張旅費のみ学校教育課予算)	17校38名の特別支援教育支援員を配置(賃金は人事課で計上)	17校43名の特別支援教育支援員、7校7名の多言語支援員を配置した。	
財政計画	事業費(千円)		21,734	32,891	43,279	
	財源内訳	国県支出金	0	0	0	
		地方債	0	0	0	
		その他	0	0	0	
		一般財源	21,734	32,891	43,279	
教育委員会の評価			B	B	B	
成果並びに今後の課題			毎年、支援学級在籍人数及び障害の程度に応じて、支援員の配当時間を算定しているが、障害者手帳未取得や心理検査等未実施な児童生徒の障害程度の実態把握が難しく、実際の配当時間との乖離が大きい。 手帳未取得や検査未実施な児童生徒の、主に対人面・行動面の困難さを把握するため担任等が実施できる心理検査等の導入を検討していく。 日本語以外の母語を持つ転入生に対して、年度途中でも多言語支援員が配置できるように予算を措置しているが、当該校にすでに配置されている特別支援教育支援員や県費非常勤講師が兼務できない場合、新規任用が難航する場合がある。 また児童生徒の母語に対応できる人材ではない事もあり、児童生徒の適応促進や保護者との意思疎通に困難を抱えることが多い。			

(令和4年度)

方針番号	方 針 内 容	担当課	学校教育課
2	豊かな心や創造性を活かした「学び」を支えるため、学びに向かう力・人間性の涵養に努め、児童生徒の支援をします。		
基本方針	3. 就学援助費による保護者負担の軽減		

事務事業番号		2－3－1			
事務事業名		私立高等学校授業料等補助事業		新規/継続	継続
対象		市内に在住する私立高校生の保護者	目的	保護者の負担軽減と、国公立学校と私立学校の格差是正を図る。	
事業概要		私立高等学校の授業料等の一部を市が単独補助する。			
事業実施状況		R1	R2	R3	
		補助対象私立高校生 421人 補助額(年額)10,000円/人	補助対象私立高校生 398人 補助額(年額)10,000円/人	補助対象私立高校生 408人 補助額(年額)10,000円/人	
財政計画	事業費(千円)		4,210	3,976	4,080
	財源内訳	国県支出金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		その他	0	0	0
		一般財源	4,210	3,976	4,080
教育委員会の評価		C	C	C	
成果並びに今後の課題		対象者に制度を周知するため、HP、広報掲載、申請実績のある私立学校に書類送付を行い、国公立学校と私立学校の格差是正を図った。 他市の動向を情報収取し、事業精査を行う。			

事務事業番号			2－3－2				
事務事業名			就学援助事業		新規/継続	継続	
対象		市内小中学校に在籍する児童生徒及び就学予定者の保護者		目的	義務教育の円滑な実施		
事業概要		経済的な理由によって就学困難な児童生徒及び愛西市立小学校への就学予定者の保護者に対し、学用品費、修学旅行費及び宿泊を伴う校外活動費等を支援する。					
事業実施状況		R1		R2		R3	
		小学生 310人 中学生 224人		小学生 306人 中学生 203人		小学生 272人 中学生 150人	
財政計画	事業費(千円)		32,747		11,204		21,382
	財源内訳	国県支出金	0		0		0
		地方債	0		0		0
		その他	0		0		0
		一般財源	32,747		11,204		21,382
教育委員会の評価		C		C		C	
成果並びに今後の課題		対象者に制度を周知するため、市HP及び広報の掲載、全児童生徒に対して案内を配布 近年はコロナウイルス感染症対策(生活支援)として給食費無償化を実施しているため、決算額が以前より低くなっている。 希望者は毎年申請を要するが理解されていないため、案内文書を精査する。					

(令和4年度)

方針番号	方 針 内 容	担当課	学校教育課
3	豊かな心や創造性を活かした「学び」を繋ぐため、最適な教育環境をつくり、学校施設の整備に努めます。		
基本方針	1. 教育施設の充実		

事務事業番号	3-1-1		
事務事業名	通学路の安全点検	新規/継続	継続
対象	市立小中学校の通学路	目的	児童生徒の通学の安全を守る。
事業概要	PTA・教職員等による通学路の危険箇所を点検する。		
事業実施状況	R1	R2	R3
	通学路点検 18校87回	通学路点検 18校70回 合同点検箇所数:90ヶ所 改善等対応済:65ヶ所	通学路点検 18校69回 合同点検箇所数:111ヶ所 改善等対応済 :39ヶ所
財政計画	事業費(千円)	67	154
	財源内訳		
	国県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
	一般財源	67	154
教育委員会の評価	C	C	C
成果並びに今後の課題	教師、児童生徒、保護者、スクールガード等による多くの視点で通学路点検が実施された。 学校から報告のあった改善要望箇所を、道路管理者や警察と一緒に合同点検を実施し、通学路看板など市教委で対応できるものは速やかに対応した。 今後も各管理者と協力して、危険箇所の解消を進めていく。		

事務事業番号		3-1-2			
事務事業名		防犯ブザー配付事業及び防災等情報メール配信システム運用事業		新規/継続	継続
対象		市立小学校の1年生児童	目的	防犯ブザーで不審者等からの被害を回避する。また、保護者へ不審者情報等を知らせ、児童生徒の安全確保に努める。	
事業概要		小学校新1年生に防犯ブザーを無償配付する。 保護者の携帯電話へ不審者情報等をメール配信する。			
事業実施状況		R1	R2	R3	
		小学1年生472人 事業費266,666円 防災等情報配信メール配信件数25件(内防犯19件) 事業費392,400円	小学1年生495人 事業費254,826円 防災等情報配信メール配信件数42件(内防犯11件) 事業費396,000円	小学1年生 495人 事業費 254,826 円 防災等情報配信メール配信件数25件(内防犯0件) 事業費396,000円	
財政計画	事業費(千円)		660	651	651
	財源内訳	国県支出金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		その他	0	0	0
		一般財源	660	651	651
教育委員会の評価		C	C	C	
成果並びに今後の課題		防犯ブザーは通学時における児童の安全を図るために必要数購入することができた。 令和3年度は、不審者情報等の防犯メールは無く、新型コロナウイルスに関する周知メール等だけだった。			

事務事業番号		3－1－3			
事務事業名		学校施設環境整備事業		新規/継続	継続
対象		市立小中学校	目的	学校施設環境の整備	
事業概要		快適に学習・生活ができるよう環境に配慮した施設の整備を実施			
事業実施状況		R1	R2	R3	
		【設計】 北河田小・草平小・永和中 【工事・監理】 佐屋小	【設計】 佐屋西小・八輪小・開治小・佐屋中・立田中・八開中・佐織西中 【工事・監理】 北河田小・草平小・永和中	【設計】 立田南部小・立田北部小 【工事・監理】 佐屋西小・八輪小・開治小・佐屋中・立田中・八開中・佐織西中	
財政計画	事業費(千円)		46,595	179,542	251,262
	財源内訳	国県支出金	10,332	49,112	72,256
		地方債	28,800	113,600	152,800
		その他	0	0	0
		一般財源	7,463	16,830	26,206
教育委員会の評価		A	A	A	
成果並びに今後の課題		当初の計画どおり対象施設への事業実施を継続 各校の現状を考慮して、洋式化、床乾式化、車いす用トイレや多目的トイレの設置等を実施 令和4年度で各校1カ所ずつトイレ改修が完了し、目標充足率(児童生徒50人に対して洋式トイレ3基)を概成できる見込み			

事務事業番号		3-1-4			
事務事業名		愛西市学校給食センター整備・運営事業		新規/継続	継続
対象		愛西市学校給食センター	目的	佐屋・立田地区の自動生徒へ安心安全な学校給食を提供	
事業概要		PFI法を活用した学校給食センターの維持管理及び運営を行う。			
事業実施状況		R1	R2	R3	
		徹底した衛生管理に基づき、大きなトラブルもなく、安定した給食の提供を実施した。	徹底した衛生管理に基づき、大きなトラブルもなく、安定した給食の提供を実施した。	徹底した衛生管理に基づき、大きなトラブルもなく、安定した給食の提供を実施した。	
財政計画	事業費(千円)		205,481	208,623	220,274
	財源内訳	国県支出金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		その他	0	0	0
		一般財源	205,481	208,623	220,274
教育委員会の評価		C	C	C	
成果並びに今後の課題		引き続き安定した給食の提供を維持できるよう事業を進める。 契約は令和8年度末までで、以後の運営方法を検討する必要がある。			

事務事業番号			3－1－5			
事務事業名			学校空調整備事業		新規/継続	継続
対象			市立小中学校施設	目的	児童生徒及び教職員が、快適に学習・生活ができるよう施設環境の整備を図る。	
事業概要			新年度に増加した普通教室及び特別支援教室へ空調を整備する。			
事業実施状況			R1	R2	R3	
			工事・監理(小中18校)	工事(小4校、中1校)	工事(小1校、中1校)	
財政計画	事業費(千円)		518,346	8,354	4,222	
	財源内訳	国県支出金	100,156	0	0	
		地方債	404,100	0	0	
		その他	0	0	1,446	
		一般財源	14,090	8,354	2,776	
教育委員会の評価			A	B	B	
成果並びに今後の課題			令和3年度は、2校3台の空調を整備した。 令和4年度は、中学校の音楽室と理科室を整備 体育館への空調整備は、費用面でかなり困難と言える。			

方針番号	方 針 内 容	担当課	学校教育課
3	豊かな心や創造性を活かした「学び」を繋ぐため、最適な教育環境をつくり、学校施設の整備に努めます。		
基本方針	2. 学校規模の適正化		

事務事業番号		3-2-1			
事務事業名		小中学校適正化事業		新規/継続	継続
対象		市立小中学校	目的	発達段階に応じたより良い教育と、安心安全で時代に応じた教育の提供	
事業概要		小中学校適正規模等基本方針に基づいて基本計画を策定し、小中学校の規模等の適正化を実現する。			
事業実施状況		R1	R2	R3	
		立田・八開地区において、保護者説明会及び住民向けに地区説明会を行った。	新型コロナウイルス感染症の影響もあり、地域との懇談会等を実施することができなかった。	愛西市立小中学校適正規模適正配置等検証委員会が5回開催され、市教育委員会へ提言書が渡された。	
財政計画	事業費(千円)		0	0	216
	財源内訳	国県支出金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		その他	0	0	0
		一般財源	0	0	216
教育委員会の評価		D	E	B	
成果並びに今後の課題		愛西市立小中学校適正規模適正配置等検証委員会より「基本方針の改訂が必要」など3点の提言がなされた。 今後、老朽化対策も含めた学校の適正化を早急に事業化していく必要がある。			

事務事業番号			3－2－2			
事務事業名			小中学校施設老朽化対策検討事業		新規/継続	継続
対象			市立小中学校	目的	学校施設に関する諸問題を調査し、学校の老朽化対策について検討する。	
事業概要			学識経験者や有識者、学校関係者による委員会を設置し、具体的な老朽化への方策を検討し、愛西市教育委員会へ提言する。			
事業実施状況			R1	R2	R3	
			—	10名による委員会発足 3回開催 市内小中学校を3校視察	市内小中学校視察を含め8回委員会を開催 市教育委員会へ提言書が渡された。	
財政計画	事業費(千円)		0	125	347	
	財源内訳	国県支出金		0	0	
		地方債		0	0	
		その他		0	0	
		一般財源		125	347	
教育委員会の評価			—	D	A	
成果並びに今後の課題			令和4年3月の会議をもって委員の意見が集約され、同日、委員長から教育長へ提言書が手渡された。 提言に対して早急に着手すべきではあるが、効率的効果的に事業を実施するために、適正化事業とともに進めていく必要がある。			

方針番号	方 針 内 容	担当課	学校教育課
3	豊かな心や創造性を活かした「学び」を繋ぐため、最適な教育環境をつくり、学校施設の整備に努めます。		
基本方針	3. 情報教育の推進		

事務事業番号			3－3－1			
事務事業名			小中学校ICT事業		新規/継続	継続
対象			市立小中学校	目的	学校の生活や学習の中で日常的にICTを活用できる環境を整備	
事業概要			老朽化した機器の更新、無線LAN、大型提示装置等の機器設置			
事業実施状況			R1	R2	R3	
			コンピュータ関連機器等や学習用ソフトの賃貸借及びシステムの円滑な運用のための保守を行った。老朽化した機器を更新した。	コンピュータ関連機器等や学習用ソフトの賃貸借及びシステムの円滑な運用のための保守を行った。	コンピュータ関連機器等や学習用ソフトの賃貸借及びシステムの円滑な運用のための保守を行った。	
財政計画	事業費(千円)		117,783	92,075	89,594	
	財源内訳	国県支出金	0	0	0	
		地方債	0	0	0	
		その他	0	0	0	
		一般財源	117,783	92,075	89,594	
教育委員会の評価			B	B	B	
成果並びに今後の課題			サーバ、パソコン、プリンタ、大型提示装置、無線LANアクセスポイント等の賃貸借およびICT機器類のシステムの保守を行い円滑な運用に努めた。 GIGAスクール事業との調整を進め、小学校のパソコン教室を撤去する予定 中学校のパソコン教室や他の機器も必要性を検討していく。			

事務事業番号			3－3－2			
事務事業名			小中学校GIGAスクール事業		新規/継続	継続
対象			市立小中学校	目的	Society 5.0時代を生きる子供たちに相応しい、誰一人取り残すことのない公正に個別最適化され、創造性を育む学びを実現	
事業概要			児童生徒1人1台のタブレット端末を配備、校舎内へ高速大容量通信ネットワークの整備、プロジェクト等の導入を実施 ICT支援員を派遣し、教員支援を行う。			
事業実施状況			R1	R2	R3	
			—	LAN配線等の工事 iPad端末等の整備	ICT支援員を派遣 各校から直接インターネット接続	
財政計画	事業費(千円)		0	475,246	39,489	
	財源内訳	国県支出金		229,511	820	
		地方債		83,700	0	
		その他		0	2,093	
		一般財源		162,035	36,576	
教育委員会の評価			—	A	A	
成果並びに今後の課題			高速大容量通信ネットワークが整備され、タブレット端末を導入し、授業での使用が始まった。 ICT支援員を派遣し、授業での活用の充実を図っている。 日常的な活用や授業での更なる活用とICT支援員の効果測定、デジタルシティズンシップの向上、機器の入替時の検討が課題			

(令和4年度)

方針番号	方 針 内 容	担当課	生涯学習課
4	一人ひとりが豊かな人生を送ることができるよう、生涯を通して意欲的に「学び」が出来る環境の整備に努めます。		
基本方針	1. 生涯学習の充実		

事務事業番号		4－1－1			
事務事業名		生涯学習施設の維持管理事業		新規/継続	継続
対象		生涯学習施設	目的	生涯学習施設の改修工事を施工する。	
事業概要		設備の経年劣化に対応するため、保全基本計画に基づく改修等を行い生涯学習施設の適正かつ円滑な運営を図る。			
事業実施状況		R1	R2	R3	
		佐織公民館防火戸改修工事 9,130,000円 佐織公民館空調機洗浄・修繕工事 1,036,800円 佐織公民館公共下水接続工事 3,240,000円 ほか	文化会館外壁等修繕工事 58,256,000円 文化会館空調機修繕工事 1,082,400円 中央図書館受変電設備修繕工事 1,485,000円 ほか	文化会館ホール舞台幕修繕工事 1,430,000円 文化会館直流電源修繕工事 7,480,000円 中央図書館外壁等修繕工事 40,832,000円 ほか	
財政計画	事業費(千円)		15,247	63,809	58,288
	財源内訳	国県支出金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		その他	0	59,851	41,809
		一般財源	15,247	3,958	16,479
教育委員会の評価		C	C	C	
成果並びに今後の課題		生涯学習施設は今後も施設、設備等の老朽化が進むものと考えられることから、施設保全基本計画に沿って改修を行う必要がある。 文化、芸術の拠点施設として有効に活用されるよう、施設の整備を図っていく。			

事務事業番号		4-1-2		
事務事業名		指定管理者制度推進事業		新規/継続 継続
対象		中央図書館 永和地区公民館 文化会館	目的	生涯学習施設に指定管理者制度を導入し、民間のノウハウによるサービスの向上をめざす
事業概要		中央図書館・永和地区公民館・文化会館に指定管理者制度を導入する。		
事業実施状況		R1	R2	R3
		中央図書館指定管理料 38,146,962円 永和地区公民館指定管理料 5,612,000円 文化会館指定管理者指定管理料 36,212,222円 モニタリング	中央図書館指定管理料 44,020,000円 永和地区公民館指定管理料 5,689,444円 文化会館指定管理料 37,791,910円 モニタリング	中央図書館指定管理料 50,688,000円 永和地区公民館指定管理料 5,953,000円 文化会館指定管理料 36,493,518円 モニタリング
		事業費(千円)	80,084	87,607 93,273
		財源内訳	0	0 0
		一般財源	0	0 0
教育委員会の評価		C	C	B
成果並びに今後の課題		中央図書館は新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため令和2年3月より開館時間を短縮していたが、令和4年8月より通常開館に戻す予定 令和3年度より中央図書館指定管理業務拡大で佐織図書館業務を含めたため、指定管理料が増額 令和3年度より永和地区公民館は、2期目(5年間)がはじまり、随時講座の開催などを行っている。 文化会館は、令和3年度に指定管理業者の2期目(5年間)の選定を行った。		

事務事業番号		4-1-3		
事務事業名		生涯学習推進事業		新規/継続 継続
対象		市民	目的	地域住民のため、地域生活に根ざした事業を行い、生活文化の振興、健康の増進等を図る。
事業概要		市民に学習機会を提供していくため講座を実施する。		
事業実施状況		R1	R2	R3
		「生涯学習のご案内」作成 生涯学習講座6・文化会館講座 8・佐織公民館講座20 (指定管理者自主事業 文化会館講座12・永和地区公民館5)	「生涯学習のご案内」作成 生涯学習講座3・高校連携講座 4・市民大学5・佐織公民館講座 14 (指定管理者自主事業 文化会館6・永和地区公民館5)	「生涯学習のご案内」作成 生涯学習講座3・高校連携講座 5・市民大学4・佐織公民館講座 17 (指定管理者自主事業 文化会館26・永和地区公民館5)
		事業費(千円)	1,114	782 845
		財源内訳	0	0 0
		一般財源	0	0 0
教育委員会の評価		C	C	C
成果並びに今後の課題		「新しい生活様式」に配慮した講座運営をしていくことが課題である。 新型コロナウイルス感染症拡大により減少傾向が見られる生涯学習活動の喚起が今後重要である。		

事務事業番号			4－1－4			
事務事業名			青少年育成事業		新規/継続	継続
対象			青少年	目的	青少年の積極的自発活動により、自らの健康を築き社会に奉仕できる能力と人生に役立つ技能を体得し、地域活動の推進、地域リーダーの育成を図る。	
事業概要			青少年健全育成のため、事業活動に対し補助をする。			
事業実施状況			R1	R2	R3	
			市成人式 青少年パトロール 有害図書回収 ボーイスカウト・ガールスカウト助成	市成人式 有害図書回収 ボーイスカウト・ガールスカウト助成	市成人式 有害図書回収 ボーイスカウト・ガールスカウト助成	
財政計画	事業費(千円)		1,158	1,018	967	
	財源内訳	国県支出金	0	0	0	
		地方債	0	0	0	
		その他	0	0	0	
		一般財源	1,158	1,018	967	
教育委員会の評価			C	C	C	
成果並びに今後の課題			青少年を取り巻く環境は有害な情報が氾濫し、多様なものになっている。 心身ともに健康で、社会において自己実現が図れるよう、活動の場を推進していく必要がある。			

事務事業番号		4－1－5			
事務事業名		家庭教育推進事業		新規/継続	継続
対象		保護者	目的	家庭教育の推進を図るとともに、地域ぐるみで明日を担う子どもの健全な育成をはかる。	
事業概要		家庭教育に関する「広報・啓発活動」や「学習機会の提供」、「親子がふれあう機会の提供」「小中学校でのあいさつ運動実践」などの事業を実施する。			
事業実施状況		R1 小学校家庭教育 幼児期家庭教育 講演会（廣瀬誠氏）	R2 小学校家庭教育 幼児期家庭教育	R3 小学校家庭教育 幼児期家庭教育	
財政計画	事業費(千円)		785	473	584
	財源内訳	国県支出金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		その他	0	0	0
		一般財源	785	473	584
教育委員会の評価		C	C	C	
成果並びに今後の課題		新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点より、講演会・観劇会を中止した。 小学校PTAや児童館などの協力を得、新型コロナウイルス感染症拡大により家庭教育の重要性が改めて注目される中、保護者が家庭教育について考える機会を設けることができた。			

事務事業番号		4－1－6			
事務事業名		婦人団体育成事業		新規/継続	継続
対象		婦人会	目的	女性としての知徳、地位の向上に努めるため、婦人団体の活動を支援し育成する。	
事業概要		婦人会育成のため、事業活動に対し補助をする。			
事業実施状況		R1	R2	R3	
		各種行事への協力、婦人会映画会、婦人あいさいの発行	各種行事への協力、婦人会映画会、婦人あいさいの発行	各種行事への協力、婦人会映画会、婦人あいさいの発行	
財政計画	事業費(千円)		1,000	840	752
	財源内訳	国県支出金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		その他	0	0	0
		一般財源	1,000	840	752
教育委員会の評価		C	C	C	
成果並びに今後の課題		婦人会員の高齢化が進み、各支部ともに新規会員の加入を課題としている。			

事務事業番号		4－1－7			
事務事業名		土曜日の教育活動推進事業		新規/継続	継続
対象		市内小中学生	目的	豊かで有意義な土曜日を実現させるために地域市民の方々の協力を得て子供たちと交流を持ちながら文化の伝承・学習機会をつくることを目的とする。	
事業概要		市民の学習ニーズを活かした多様な学習を企画・展開する。			
事業実施状況		R1	R2	R3	
		あいさい土曜キラリ学習20教室	あいさい土曜キラリ学習2教室	あいさい土曜キラリ学習 19教室	
財政計画	事業費(千円)		1,289	175	939
	財源内訳	国県支出金	749	79	585
		地方債	0	0	0
		その他	55	3	36
		一般財源	485	93	318
教育委員会の評価		C	C	C	
成果並びに今後の課題		地域の方々と協力し、様々な学習機会を作ることができた。			

方針番号	方 針 内 容	担当課	生涯学習課
4	一人ひとりが豊かな人生を送ることができるよう、生涯を通して意欲的に「学び」が出来る環境の整備に努めます。		
基本方針	2. 文化財等の保護・活用		

事務事業番号		4－2－1			
事務事業名		文化財等保護保存事業		新規/継続	継続
対象		文化財資料	目的	市内外に所在する市関係資料の収集につとめるとともに、調査研究をすすめ、市民にその成果を還元し、文化財保護意識の高揚を図る。	
事業概要		市内外の愛西市関係資料調査と資料整理を行う。また保存のための措置として資料のくん蒸を実施し、資料保存に努めていく。			
事業実施状況		R1	R2	R3	
		八開郷土資料室(仮)整理作業 文化財施設清掃・維持 燻蒸等	八開郷土資料室(仮)整理作業 文化財施設清掃・維持 燻蒸等 立田文化財資料倉庫解体工事 設計委託	八開郷土資料室(仮)整理作業 文化財施設清掃・維持 燻蒸 等 立田文化財資料倉庫解体工事・ 監理 佐屋代官所址保存整備工事 等	
財政計画	事業費(千円)		1,900	2,941	20,588
	財源内訳	国県支出金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		その他	0	0	0
		一般財源	1,900	2,941	20,588
教育委員会の評価		D	C	C	
成果並びに今後の課題		文化財の環境保全・資料管理を行う。 令和3年に立田文化財資料倉庫は取り壊した。 今後、八開郷土資料室(仮)は移転予定あり。移転先を選定していく。			

事務事業番号			4－2－2			
事務事業名			文化財民俗芸能保護保存事業		新規/継続	継続
対象			市内の指定文化財	目的	国選択・市指定の文化財の保存団体に対し、行事の実施や修繕、後継者育成のための支援を行う。	
事業概要			文化財の保存管理と継承を図るため補助をする。			
事業実施状況			R1	R2	R3	
			円空仏 東保クロマツ 勝幡オコワ祭 定納オビシヤ	円空仏 東保クロマツ 勝幡オコワ祭 定納オビシヤ 勝軍延命地藏菩薩修繕	円空仏 東保クロマツ 勝幡オコワ祭 定納オビシヤ	
財政計画	事業費(千円)		232	1,373	193	
	財源内訳	国県支出金	0	0	0	
		地方債	0	0	0	
		その他	0	0	0	
		一般財源	232	1,373	193	
教育委員会の評価			C	C	C	
成果並びに今後の課題			文化財の保護や適正に保存してもらうために補助を行う。 地域の文化財は、市と地域が協力し合い、伝承していくことが重要である。			

事務事業番号		4-2-3			
事務事業名		文化財啓発事業		新規/継続	継続
対象		市民	目的	郷土について学び文化財保護の意識の高揚を図る。	
事業概要		市民に学習機会の提供を図るため、歴史講演会、教室・講座、企画展を開催する。			
事業実施状況		R1	R2	R3	
		あいさい物語 歴史講演会「オコワ祭シンポジウム～祭りの継承」 展示「春の訪れ～尾張西部のオコワ祭～」 特別公開「鈴木家住宅特別公開」	あいさい物語 企画展「津島街道をゆく」 佐屋宿ガイドマップ「佐屋宿をゆく」作成事業	あいさい物語 企画展「あいさいの『城』」「道具から思い出、そして文化財へ」	
財政計画	事業費(千円)		90	160	80
	財源内訳	国県支出金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		その他	64	22	33
		一般財源	26	138	47
教育委員会の評価		C	C	C	
成果並びに今後の課題		佐織公民館学芸員による企画展を開催した。 歴史のある市であると市民が誇りを持てるよう、市の歴史について学ぶ場を作る。			

事務事業番号		4－2－4			
事務事業名		ユネスコ無形文化遺産「市江車行事」啓発事業		新規/継続	継続
対象		市民	目的	ユネスコ無形文化遺産、尾張津島天王祭・朝祭の主役である「市江車行事」について、市民に広く啓発する。	
事業概要		様々な形態の啓発活動を開催し、市江車について理解を深めていただく。			
事業実施状況		R1	R2	R3	
		津島祭礼図屏風クリアファイル作製 市江車ガイドパンフレット作製 祭礼図屏風保管箱 市江車保存会補助金	市江車保存会補助金	市江車保存会補助金	
財政計画	事業費(千円)		3,209	871	1,000
	財源内訳	国県支出金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		その他	0	0	0
		一般財源	3,209	871	1,000
教育委員会の評価		C	C	C	
成果並びに今後の課題		市江車保存会を補助し、市内外を問わず広く知っていただくため啓発する必要がある。 今後、市江車の部分修理を行っていく。			

(令和4年度)

方針番号	方 針 内 容	担当課	生涯学習課
4	一人ひとりが豊かな人生を送ることができるよう、生涯を通して意欲的に「学び」が出来る環境の整備に努めます。		
基本方針	3. 文化・芸術活動の推進		

事務事業番号		4－3－1			
事務事業名		文化芸術団体育成事業		新規/継続	継続
対象		市民	目的	市の生涯学習施設を利用し、心の豊かさの糧となる文化・芸術に市民が触れる機会を提供する。	
事業概要		文化祭・音楽祭などを開催する。また、文化芸術活動団体を支援する。			
事業実施状況		R1	R2	R3	
		文化協会補助金 文化祭 あいさい音楽祭	文化協会補助金	文化協会補助金 文化祭交付金 あいさい音楽祭	
財政計画	事業費(千円)		5,701	2,700	4,009
	財源内訳	国県支出金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		その他	646	0	359
		一般財源	5,055	2,700	3,650
教育委員会の評価		B	C	C	
成果並びに今後の課題		新型コロナウイルス感染拡大防止のため、文化祭は中止した。			

(令和4年度)

方針番号	方 針 内 容	担当課	生涯学習課
4	一人ひとりが豊かな人生を送ることができるよう、生涯を通して意欲的に「学び」が出来る環境の整備に努めます。		
基本方針	4. 図書館サービスの推進		

事務事業番号		4－4－1			
事務事業名		図書館整備充実事業		新規/継続	継続
対象		市民	目的	図書館システムにより図書の貸出返却、資料管理やインターネット予約、レファレンス等を一括して行う。	
事業概要		貸出状況管理・利用者管理・図書資料データ管理・ホームページ・インターネット予約管理・統計作成など行う。 インターネットを利用して資料データを市民が自宅で検索・予約できる。			
事業実施状況		R1	R2	R3	
		インターネット検索 484,242件	インターネット検索 94,987件	インターネット検索 126,419件	
財政計画	事業費(千円)		5,103	5,137	4,860
	財源内訳	国県支出金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		その他	0	0	0
		一般財源	5,103	5,137	4,860
教育委員会の評価		C	C	C	
成果並びに今後の課題		令和4年度にはシステム改修が行われるため、利用者に使いやすいホームページの構築を目指す。			

事務事業番号		4－4－2			
事務事業名		図書館資料提供事業		新規/継続	継続
対象		市民	目的	図書資料の充実・レファレンス資料の充実を図る。	
事業概要		利用者が求める資料を提供するため、資料の収集・レファレンス・閲覧・貸出等を行う。			
事業実施状況		R1	R2	R3	
		図書資料購入点数 4,643冊 視聴覚資料購入点数 105点	図書資料購入点数 4,401冊 視聴覚資料購入点数 106点	図書資料購入点数 4,238冊(紙芝居を含む) 視聴覚資料購入点数 78点 (CD/DVD)	
財政計画	事業費(千円)		7,516	7,414	7,276
	財源内訳	国県支出金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		その他	0	0	0
		一般財源	7,516	7,414	7,276
教育委員会の評価		C	C	C	
成果並びに今後の課題		利用者の求める資料の選定及び廃棄資料の選定を行い、書架の鮮度を保つ。 所蔵スペースの限界を超えて収納しているため、書棚の配置の見直しをはかり、所蔵スペースの拡大を目指す。			

事務事業番号		4－4－3			
事務事業名		子ども読書活動推進計画事業		新規/継続	継続
対象		児童・生徒	目的	平成28年3月策定の第二次子ども読書活動推進計画に基づき、事業を行う。	
事業概要		読み聞かせ会・季節展示・工作会等を随時開催し、学校との連携を図る。			
事業実施状況		R1 おはなし会・図書紹介・学校との連携・調べ学習の手助けなど	R2 おはなし会・図書紹介・学校との連携・調べ学習の手助けなど	R3 おはなし会・図書紹介・学校との連携・調べ学習の手助けなど	
財政計画	事業費(千円)		5	0	198
	財源内訳	国県支出金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		その他	0	0	0
		一般財源	5	0	198
教育委員会の評価		D	D	C	
成果並びに今後の課題		R3年度にティーンズコーナーのリニューアルを行った。 新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、おはなし会については再開を見合わせている。			

方針番号	方 針 内 容	担当課	スポーツ課
5	「学び」を通して、健やかな心身を育み、継続するための「活動」を支援し、生涯にわたってスポーツに親しめる環境づくりを推進します。		
基本方針	1. スポーツ活動の振興		

事務事業番号		5-1-1				
事務事業名		高齢者スポーツ開催事業 さわやかウォーキング		新規/継続	継続	
対象		小学生以上	目的	健康維持と体力づくり及び運動習慣をサポートするため、有酸素運動として有効で、かつ比較的軽い運動であるウォーキングを推進する。		
事業概要		「歩く」ことにより、運動不足の解消、健康づくりを図った。				
事業実施状況		R1	R2	R3		
		令和2年 3月8 日(日) 「日本ラインうめまの森」 (岐阜県各務原市)	令和3年 3月7日(日) 「日本ラインうめまの森」 (岐阜県各務原市)	令和4年3月6日(日) 「日本ラインうめまの森」 (岐阜県各務原市)		
財政計画	事業費(千円)	2	0	0		
	財源内訳	国県支出金	0	0	0	
		地方債	0	0	0	
		その他	0	0	0	
		一般財源	2	0	0	
教育委員会の評価		—	—	—		
成果並びに今後の課題		新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止とした。 安全が確保され、参加者が楽しく安心して歩くことができる場所を選定する。				

事務事業番号		5-1-2		
事務事業名		高齢者スポーツ開催事業 エクササイズ		新規/継続
対象		高校生以上	目的	高齢者を含めた健康維持と体力づくり・運動習慣をサポートするため、総合型地域スポーツクラブのスポーツ事業(常時活動)として機能改善、向上を図る。
事業概要		ストレッチの講座を年間を通して開催する。		
事業実施状況		R1 第2・4金曜日(年間22回) 参加者24名(60歳以上22名)	R2 第2・4金曜日(年間 21回) 参加者17名(65歳以上17名)	R3 第2・4金曜日(年間 24回) 参加者14名(65歳以上14名)
財政計画	事業費(千円)	0	0	0
	財源内訳			
	国県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
教育委員会の評価		C	C	C
成果並びに今後の課題		市民が楽しく、健康・体力づくりができるスポーツの定期的・継続的な活動を行う。		

事務事業番号		5-1-3		
事務事業名		スポーツ教室開催事業		新規/継続
対象		未就学児～高齢者	目的	スポーツ教室を通してスポーツに取り組む機会と継続的なスポーツ活動と地域の仲間作りを推進するとともに健康増進を図る。
事業概要		幅広い世代に向けた教室を開催し、生涯スポーツとの出会いの場を提供する。		
事業実施状況		R1 総合型地域スポーツクラブ事業 ショートテニス始め14種目362名 (内60歳以上 116名)	R2 総合型地域スポーツクラブ事業 ショートテニス始め15種目357名 (内65歳以上 130名) (内高校生以上～40歳以下 7名)	R3 総合型地域スポーツクラブ事業 ショートテニス始め16種目360名 (内65歳以上 115名) (内高校生以上～40歳以下 9名)
財政計画	事業費(千円)	0	0	0
	財源内訳			
	国県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
教育委員会の評価		C	C	C
成果並びに今後の課題		幅広い世代の方々が多種目のスポーツ・レクリエーションの定期的・継続的な活動を行い、市民の健康、体力づくりのサポートをした。 高齢者の利用者数が安定している一方で、高校生以上の若い世代の利用者が少ないため、若い世代向けの新たな講座の開設を検討する。		

事務事業番号		5-1-4				
事務事業名		ニュースポーツフェスティバル開催事業		新規/継続	継続	
対象		年長以上	目的	子どもから高齢者まで楽しめるニュースポーツを紹介、体験することで、ニュースポーツの普及とともに、運動による健康増進を図る。		
事業概要		「遊びが運動になる、運動が遊びになる」をテーマにニュースポーツの紹介と気軽にできる運動の体験の場を提供する。				
事業実施状況		R1	R2	R3		
		8月3日(土) 競技種目4種 参加者328名(60歳以上 74名)	8月16日(日) 競技種目4種	8月15日(日) 競技種目3種		
財政計画	事業費(千円)	0	0	0		
	財源内訳	国県支出金	0	0	0	
		地方債	0	0	0	
		その他	0	0	0	
		一般財源	0	0	0	
教育委員会の評価		C	—	—		
成果並びに今後の課題		新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止とした。 子どもから高齢者が親しめる生涯スポーツの実現に向け事業を推進する。 感染対策をしながら行える種目で開催する。				

事務事業番号		5-1-5			
事務事業名		スポーツ推進計画推進事業		新規/継続	継続
対象		市民	目的	愛西市スポーツ推進計画の推進を図る。	
事業概要		平成24年度から平成33年度までの10年間の愛西市スポーツ推進計画の推進を図る。			
事業実施状況		R1	R2	R3	
		平成24年度に策定したスポーツ推進計画に基づき個々の事業推進に努めた。	平成24年度に策定したスポーツ推進計画に基づき個々の事業推進に努めた。	平成24年度に策定したスポーツ推進計画に基づき個々の事業推進に努めた。	
財政計画	事業費(千円)		0	0	0
	財源内訳	国県支出金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		その他	0	0	0
		一般財源	0	0	0
教育委員会の評価		C	C	C	
成果並びに今後の課題		スポーツ推進計画に基づき、個々の事業推進に努めた。 近隣市町村の状況を調査し、スポーツ施設の利用者やスポーツ協会等団体の意見や市民アンケートの結果をふまえたうえで、「令和4年度から令和8年度まで」の5年間の計画を策定した。			

事務事業番号		5-1-6		
事務事業名		スポーツ教室推進		新規/継続
対象		未就学児～高齢者(家族含む)	目的	スポーツ教室を通じてスポーツに取り組む機会と継続的なスポーツ活動とスポーツ競技力の向上を図る。
事業概要		各スポーツ教室を地区体育館等を開催場所にして、地域市民が気軽に参加できる教室を開催する。また、親子が楽しんで参加できる教室を開催する。		
事業実施状況		R1	R2	R3
		総合型地域スポーツクラブ事業 常時活動 19講座 指定管理業者自主事業 親水公園体育館 27講座 立田体育館 2講座 佐織体育館 10講座	総合型地域スポーツクラブ事業 常時活動 20講座 指定管理業者自主事業 親水公園体育館 28講座 立田体育館 1講座 佐織体育館 10講座	総合型地域スポーツクラブ事業 常時活動 20講座 指定管理業者自主事業 親水公園体育館 26講座 立田体育館 1講座 佐織体育館 8講座
財政計画	事業費(千円)	0	0	0
	財源内訳			
	国県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	0	0	0
教育委員会の評価		B	B	B
成果並びに今後の課題		今後も市民にスポーツを親しむ機会を与えることができるスポーツ教室・講座を開催し、継続的なスポーツ活動ができる種目を検討する		

事務事業番号		5-1-7		
事務事業名		スポーツイベント開催		新規/継続
対象		未就学児又は小学生以上	目的	スポーツイベントを開催し、スポーツに親しむ機会と軽スポーツ・レクリエーションを楽しみ、健康維持、増進を図る。
事業概要		教育委員会において、誰でも気軽に参加できるジョギングを開催し、参加者数を増やし、市民のスポーツ振興を図る。また、総合型地域スポーツクラブにおいて、スポーツを通して幅広い世代の方と交流ができる事業を開催する。		
事業実施状況		R1	R2	R3
		教育委員会事業 ニュースポーツフェスティバル いきいきジョギング 総合型地域スポーツクラブ事業 三世代交流イベント スナッグゴルフ交流大会 小中学生卓球交流大会 会員交流イベント	教育委員会事業 いきいきジョギング 総合型地域スポーツクラブ事業 三世代交流イベント スナッグゴルフ交流大会 小中学生卓球交流大会 会員交流イベント	教育委員会事業 いきいきジョギング 総合型地域スポーツクラブ事業 三世代交流イベント スナッグゴルフ交流大会
財政計画	事業費(千円)	59	0	0
	財源内訳			
	国県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	59	0	0
教育委員会の評価		B	—	B
成果並びに今後の課題		今後もスポーツに親しむ機会を創出し、健康維持・増進に役立てるようなイベントを企画し、参加者数が増えるよう内容を検討する。		

(令和4年度)

方針番号	方 針 内 容	担当課	スポーツ課
5	「学び」を通して、健やかな心身を育み、継続するための「活動」を支援し、生涯にわたってスポーツに親しめる環境づくりを推進します。		
基本方針	2. 地域スポーツ指導者の養成		

事務事業番号	5-2-1		
事務事業名	スポーツ推進委員活動事業	新規/継続	継続
対象	スポーツ指導者	目的	市民のスポーツの振興を図る。
事業概要	スポーツに関する行事又は事業への協力並びにスポーツイベントの企画運営を行う。		
事業実施状況	R1	R2	R3
	スポーツイベントの企画、運営 3イベント 総合型地域スポーツクラブへの参加 4講座 各地域市民体育大会への協力参加 市子ども会スポーツ大会「ドッジボール」への協力、指導	スポーツイベントの企画、運営 3イベント 総合型地域スポーツクラブへの参加 各地域市民体育大会への協力参加	スポーツイベントの企画、運営 3イベント(中止) 総合型地域スポーツクラブへの参加 各地域市民体育大会への協力参加 (中止) 日曜フリースポーツの指導
財政計画	事業費(千円)	1,950	0
	財源内訳		
	国県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
	一般財源	1,950	0
教育委員会の評価	C	—	B
成果並びに今後の課題	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、全てのスポーツイベントと市民体育大会を中止 スポーツクラブの講座の一環として日曜フリースポーツを開講し、親しみやすいスポーツを体験していただいた。 スポーツ推進委員と協議し、市民がスポーツを楽しむ機会となるようなイベントを企画・運営する。		

事務事業番号		5-2-2			
事務事業名		地域スポーツ推進員育成(スポーツ指導者)		新規/継続	継続
対象		スポーツ指導者	目的	スポーツ少年団・学校運動部活等において、必要最低限の知識・技能に基づき、当該競技の上位資格者と協力して安全で効果的な活動を提供する。	
事業概要		スポーツ少年団の指導者及び関係者に対し、スタートコーチ養成講習会参加指導を行う。			
事業実施状況		R1	R2	R3	
		受講者 2人	講習会中止	受講者 2人	
財政計画	事業費(千円)		0	0	0
	財源内訳	国県支出金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		その他	0	0	0
		一般財源	0	0	0
教育委員会の評価		C	—	C	
成果並びに今後の課題		令和2年度より、スポーツリーダー養成講習会兼スポーツ少年団認定員養成講習会が廃止になり、公認スタートコーチ養成講習会になった。 子どもたちが適切な指導のもと安全にスポーツをすることができる環境づくり、スポーツ振興と競技力向上にあたる指導者の育成のため、公認スポーツ指導者の資格保持者の増員を目指す。			

方針番号	方 針 内 容	担当課	スポーツ課
5	「学び」を通して、健やかな心身を育み、継続するための「活動」を支援し、生涯にわたってスポーツに親しめる環境づくりを推進します。		
基本方針	3. スポーツ団体の育成・自立支援		

事務事業番号			5-3-1			
事務事業名			地区市民体育大会助成事業		新規/継続	継続
対象			八開地区市民体育大会推進協議会 立田地区市民体育大会推進協議会	目的	地区市民体育大会推進協議会及び運営委員会を組織し、スポーツ基本法第23条(体育の日の行事)に基づき、地域住民の交流とスポーツ・レクリエーション活動を支援する。	
事業概要			地区市民が主体になり地域市民が自主的に参加する体育大会の開催経費を補助する。			
事業実施状況			R1	R2	R3	
			10月6日(日) 八開地区:延べ1,809名 10月12日(土) 立田地区:天候不良のため中止	10月4日(日) 八開地区 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止 10月10日(土) 立田地区 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止	10月3日(日) 八開地区 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止 10月9日(土) 立田地区 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止	
財政計画	事業費(千円)		1,318	4	0	
	財源内訳	国県支出金	0	0	0	
		地方債	0	0	0	
		その他	0	0	0	
		一般財源	1,318	4	0	
教育委員会の評価			C	—	—	
成果並びに今後の課題			新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止とした。 地域コミュニティ機能が低下し、有事の際に地域住民が助け合う共助の意識が薄れていることが危惧されている中、地域主導型で、体育大会を開催し、地域住民の交流の機会をつくることで、共助の意識を啓発し、地域の連携を強化することができるよう支援する。			

事務事業番号			5-3-2			
事務事業名			スポーツ協会補助事業		新規/継続	継続
対象			スポーツ協会	目的	スポーツの普及振興および加盟団体の活動強化、市民大会の開催等、団体の活動および運営の補助をし、市民の心身の健全な発達を図る。	
事業概要			愛西市における体育・スポーツ団体を統括し、アマチュアスポーツの普及振興と市民のスポーツへの関心を高めるのに必要な事業を行うため、団体へ補助する。			
事業実施状況			R1	R2	R3	
			スポーツ協会加盟団体 一般団体 22団体 スポーツ少年団 11団体 小・中学校体育連盟 市民大会 17種目 2,631名	スポーツ協会加盟団体 一般団体 22団体 スポーツ少年団 10団体 小・中学校体育連盟 市民大会 5種目 596名	スポーツ協会加盟団体 一般団体 23団体 スポーツ少年団 10団体 小・中学校体育連盟 市民大会 12種目 1,308名	
財政計画	事業費(千円)		13,850	14,914	13,564	
	財源内訳	国県支出金	0	0	0	
		地方債	0	0	0	
		その他	0	0	0	
		一般財源	13,850	14,914	13,564	
教育委員会の評価			B	B	B	
成果並びに今後の課題			スポーツ協会が、地域スポーツの中核となるような組織を目指す。 子どもたちの健全育成、体力向上に大きく寄与するスポーツ少年団の活動を推進し、一般団体においても小中学生の受け入れや周知を積極的に行い、子どもたちの体力低下の防止を目指す。 学校部活動とのかかわりについては今後も検討・協議をしていく。			

事務事業番号		5－3－3			
事務事業名		総合型地域スポーツクラブ助成事業		新規/継続	継続
対象		あいさいスポーツクラブ	目的	誰もが気軽にスポーツを親しむ機会が増え、生涯スポーツ社会の実現を図る。	
事業概要		地域住民により主体的に運営される総合型地域スポーツクラブに対する活動支援を行う。			
事業実施状況		R1	R2	R3	
		会員数 362名 常時活動講座 19講座 補助金交付実績 3,400,000円	会員数 357名 常時活動講座 20講座 補助金交付実績 3,900,000円	会員数 360名 常時活動講座 20講座 補助金交付実績 3,900,000円	
財政計画	事業費(千円)		3,400	3,900	3,900
	財源内訳	国県支出金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		その他	0	0	0
		一般財源	3,400	3,900	3,900
教育委員会の評価		C	C	C	
成果並びに今後の課題		幅広い世代が多種目のスポーツ・レクリエーションの定期的・継続的な活動を行った。 会員数の増加を目指し、新たな講座の開設を検討する。			

方針番号	方 針 内 容	担当課	スポーツ課
5	「学び」を通して、健やかな心身を育み、継続するための「活動」を支援し、生涯にわたってスポーツに親しめる環境づくりを推進します。		
基本方針	4. スポーツ施設の活用の充実		

事務事業番号		5－4－1			
事務事業名		スポーツ施設等指定管理者事業		新規/継続	継続
対象		スポーツ施設等	目的	民間企業のノウハウを活かし、住民サービスの向上を図る。	
事業概要		体育館3館、屋外スポーツ施設6施設を一括して指定管理者制度を導入し、民間企業の持つ能力を活用し、住民サービスの向上と管理経費の節減を進める。			
事業実施状況		R1	R2	R3	
		指定管理委託料 151,539,819円 毎月モニタリング(市と指定管理者との連絡調整会議)を実施 定期的な実地調査の実施 実績評価委員会の開催(2回) 自主事業	指定管理委託料 153,121,018円 毎月モニタリング(市と指定管理者との連絡調整会議)を実施 定期的な実地調査の実施 実績評価委員会の開催(2回) 自主事業	指定管理委託料 152,610,000円 毎月モニタリング(市と指定管理者との連絡調整会議)を実施 定期的な実地調査の実施 実績評価委員会の開催(2回) 自主事業	
財政計画	事業費(千円)	151,540	153,121	152,610	
	財源内訳	国県支出金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		その他	12,135	998	0
		一般財源	139,405	152,123	152,610
教育委員会の評価		C	C	C	
成果並びに今後の課題		体育施設をはじめ、屋外スポーツ施設や学校体育施設の有効利用や住民サービスの向上を図った。民間企業の持つ能力を活用し、住民サービスの向上と管理経費の節減に努める。さらなるスポーツ人口の増加に繋げるため、民間企業のノウハウを活用し施設の有効活用を検討する。			

事務事業番号		5－4－2			
事務事業名		体育施設整備事業		新規/継続	継続
対象		体育施設	目的	体育施設がいつでも安心・安全で快適に利用できる。	
事業概要		体育施設が安全・快適に利用できるよう施設整備を図る。			
事業実施状況		R1 親水公園総合体育館照明制御システム本体改修工事等	R2 佐屋総合運動場管理室等設置工事等	R3 親水公園総合運動場テニスコート改修工事等	
財政計画	事業費(千円)		22,815	209,484	55,576
	財源内訳	国県支出金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		その他	15,304	189,834	40,172
		一般財源	7,511	19,650	15,404
教育委員会の評価		B	B	B	
成果並びに今後の課題		体育施設が安全・快適に利用できるよう改修工事及び設計・監理委託を行った。施設修繕計画により、計画的な施設整備を行う。			

(令和4年度)

方針番号	方 針 内 容	担当課	学校教育課
	新型コロナウイルス感染症対策事業		
基本方針			

事務事業番号					
事務事業名		小中学校給食費無償化事業		新規/継続	継続
対象		小中学生の保護者	目的	新型コロナウイルス感染症対策における市民生活の維持、回復のための支援策の一つとして、子育て世代への負担軽減を図る。	
事業概要		市内小中学校の給食費を令和3年6月から令和3年12月まで無償化する。 また、給食費無償化の対象とならない児童・生徒の保護者に対し、支援金を支給する。			
事業実施状況		R1	R2	R3	
		—	給食費無償化 対象食数:815,052食 給食費 :214,562,060円 給食費等支援金 対象者 :50人 支援総額:1,762,880円	給食費無償化 対象食数:485,303食 給食費 :127,972,445円 給食費等支援金 対象者 :47人 支援総額:1,169,590円	
財政計画	事業費(千円)		0	1,763	1,170
	財源内訳	国県支出金		0	1,170
		地方債		0	0
		その他		0	0
		一般財源		1,763	0
教育委員会の評価		—	A	A	
成果並びに今後の課題		前年度に引き続き、私立学校等へ就学する家庭や、アレルギー等諸事情による給食を食べられない児童生徒の保護者の負担を軽減することができた。			

事務事業番号					
事務事業名		学校保健特別対策事業費補助金		新規/継続	継続
対象		市立小中学校	目的	学校の感染症対策を徹底しながら、十分な教育活動を継続する。	
事業概要		校舎内廊下にある手洗い場の一部の蛇口に、自動水栓を設置する。			
事業実施状況		R1	R2	R3	
		—	感染症・熱中症対策等物品購入 全18校 20,676,238円 網戸の設置 全18校 16,749,318円	自動水栓の設置 全18校 9,898,900円	
財政計画	事業費(千円)		0	37,426	9,899
	財源内訳	国県支出金		37,159	9,899
		地方債		0	0
		その他		0	0
		一般財源		267	0
教育委員会の評価		—	A	A	
成果並びに今後の課題		児童生徒に手洗いやうがいを徹底していく中で、蛇口を介しての接触機会を減らすことができた。			

(令和4年度)

方針番号	方 針 内 容	担当課	生涯学習課
	新型コロナウイルス感染症対策事業		
基本方針			

事務事業番号					
事務事業名		社会教育施設感染症拡大防止事業		新規/継続	継続
対象		社会教育施設利用の市民全般	目的	社会教育施設環境の改善を図り、新型コロナウイルスの感染拡大を防止する。	
事業概要		新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として網戸、サーキュレーター等を購入し、社会教育施設利用者の安全を確保する。			
事業実施状況		R1	R2	R3	
		—	飛沫防止衝立 （文化会館・佐織公民館） サーキュレーター （文化会館・佐織公民館・中央図書館） 空気清浄機 （中央図書館・佐織図書館） 図書消毒機 （中央図書館・佐織図書館）	網戸 （中央図書館） サーキュレーター等 （文化会館・佐織公民館・永和地区公民館・中央図書館）	
財政計画	事業費(千円)		0	2,611	984
	財源内訳	国県支出金		2,611	984
		地方債		0	0
		その他		0	0
		一般財源		0	0
教育委員会の評価		—	A	A	
成果並びに今後の課題		各社会教育施設に設備を購入し活用することにより、施設利用者の安全を概ね確保することができた。			

(令和4年度)

方針番号	方 針 内 容	担当課	スポーツ課
	新型コロナウイルス感染症対策事業		
基本方針			

事務事業番号					
事務事業名		スポーツ施設予約システム導入事業		新規/継続	新規
対象		各スポーツ施設	目的	新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、利用者がどこにいてもスポーツ施設の予約及び決済ができる環境を整える。	
事業概要		システムの導入管理、操作マニュアルの作成及び職員への操作研修等の導入時作業やインターネットによる本システムのASPサービス提供、システム保守及び運用を行う。			
事業実施状況		R1	R2	R3	
				愛西市スポーツ施設予約システム導入	
財政計画	事業費(千円)			5,797	
	財源内訳	国県支出金		5,797	
		地方債		0	
		その他		0	
		一般財源		0	
教育委員会の評価		—	—	A	
成果並びに今後の課題		新型コロナウイルス感染拡大を防ぐために、「新しい生活様式」として、インターネットでスポーツ施設の空き状況の確認や、予約及びオンライン決済ができるシステムを導入した。 令和5年度から、学校開放についても同様にオンラインでの手続きができるよう、予約システムの利便性を高めていく。			

VI. 評価委員による意見

事務事業番号	事務事業名	評価委員意見
【学校教育課】		
1-1-1	児童生徒芸術鑑賞	○補助額の下限を設けることには賛成。 ○全校実施ができていないので、均等な機会が設けられたらと思う。
1-1-3	学校給食費負担事業	○保護者の立場としてとても感謝している。 ○保護者負担が減少したことは、食品の価格変動がある中で大変ありがたいことだと思う。
1-1-4	交通教育	○全校での実施をお願いしたい。
1-1-5	防災訓練	○「自助」「共助」等の考える力も必要だと思うので、避難訓練、防災訓練のみではなく、ハザードマップを見て研究し体験できるような機会があると良い。 ○想定外を想定しながらの訓練を子ども、地域を巻き込んで今後はやっていただきたい。 ○学校ごとで取り組みに差があるように思える。
1-1-7	ALT講師配置事業	○派遣される指導助手によって、授業に差が出ないようにしてほしい。
1-1-8	学校活動総合事業	○学校裁量が増えたことは、学校活動の促進に効果的である。
1-2-2	学校評議員設置事業	○評議員の入れ替えは効果的と思われるが、どの程度を入れ替えの基準とするのか検討が必要。
1-2-3	PTA活動運営・PTA連絡協議会	○加入しない方も増えておりPTAを無くすことは簡単かもしれないが、PTAは学校、子どもたちのためでもあり、学校活動を補完する部分で大事だと思う。 ○加入しない保護者が増えている中で、必要になるお金を支出していただき感謝する。
1-3-1	社会科研究事業	○副読本作成に尽力いただき大変ありがたい。
2-1-2	いじめ問題対策事業	○いじめに関するアンケートを令和元年度から6回に増やし効果が出ていると思う。 ○保護者へのアンケートやメールを活用することで、いじめの「芽」の段階で認知することができるのではないかな。
2-2-2	特別支援教育支援員の配置	○保護者に対する連絡や宣伝ができていないと感じる。 ○各学校に配置する必要は無いが、日本語に壁を感じている子が小さな学校にもいると思うので、拠点校を設けて派遣し教育を受けられる環境づくりをしてほしい。 ○登下校時のコミュニケーションをとれる工夫はないか。 ○普通学級でも要支援児童がおり、特に小学校の担任や単学級になった時の負担が大きくなるため、サポートがあると良い。
2-3-2	就学援助事業	○周知の仕方を工夫してほしい。
3-1-5	学校空調整備事業	○3年から4年かけて整備していただき、子ども達にとって快適な学習環境を提供できてよい。 ○体育館への空調整備について学校によって大きな扇風機で対応しているところもある。熱中症など心配だが、空調整備が困難であるのは理解できる。
3-2-1 3-3-2	小中学校適正化事業 小中学校施設老朽化対策検討事業	○2つの事業を並行して実施し、大変だったと思うが3月には提言書が出され一歩前進できたと思う。

事務事業番号	事務事業名	評価委員意見
--------	-------	--------

【生涯学習課】

4-1-4 4-1-5	青少年育成事業 家庭教育推進事業	○事業対象が広く大変な事業だと思うが、引き続きお願いしたい。
4-1-7	土曜日の教育活動推進事業	○コロナの関係もあると思うが、参加者が少ないと感じる。 ○人気のある講座が抽選により外れてしまう子がいるので、講座を増やすなどして活用機会を設けてほしい。
4-2-2	文化財民俗芸能保護 保存事業	○お祭りなので人を集めることも大事だが、継続することも大事にしていきたいと思う。
4-3-1	文化芸術団体育成事業	○地域の盛り上げのためにも1年に1回で良いので、質の高い企画の立案をお願いしたい。
4-4-1	図書館整備充実事業	○なかなか図書館を利用しない傾向がある。難しいが利用促進の工夫を。
4-4-2	図書館資料提供事業	○移動図書館や役所の一角に本を置いて月に1、2度入れ替えをしたりして役所でも借りられるサービスがあると良い。 ○子ども達向けに夏休みの宿題であるポスター、習字、読書感想文の講座を企画していただくと良い。

【スポーツ課】

5-1-3	スポーツ教室開催事業	○若い世代の参加者が少ないため、若年層向けの講座開設を検討する必要があると思うが、人を呼び込むための魅力ある広報づくりをしていただけると集まるのではないかと感じる。
5-3-1	地区市民体育大会助成事業	○地域住民の交流に向けて、開催してほしい。
5-3-2	スポーツ協会補助事業	○教員の業務多忙化等が全国的に問題になっているため、部活動との関わりについて、今後も協議してほしい。 ○指導者が高齢化している。指導者の発掘に力を入れることが必要。
5-3-3	総合型地域スポーツ クラブ助成事業	○事業自体が25年程前からできていると思うが、事業自体の認知度が低いと感じる。

事務事業番号	事務事業名	評価委員意見
【新型コロナウイルス感染症】		
	社会教育施設感染症 拡大防止事業	○感染対策のため窓を開けるが、従来開けることを想定していなかったところが今では開ける前提になっており、網戸の無いところから虫が入ってくる。今後も気にしながら改善の検討をしてほしい。
	スポーツ施設予約シ ステム導入事業	○便利なシステムが導入されており、今後、学校開放にも対応できるように進められ、ぜひ利用したい。

【全体に対する意見】

- 老朽化が深刻。順序をつけて対応し、安心安全に利用できる環境づくりに努めていただきたい。
- 新型コロナウイルス終息の目途は立たないが、臨機応変に対応いただきたい。
- 計画を立てることは人材育成をする上でも大事。技術の伝承と同様で中止するのもやむを得ないが、継続することを念頭においてほしい。
- 申請等に対する宣伝方法を再度検討すべきである。
- 令和２年度より感染対策をしながら、事業を進められていてよい。
- 財政と相談にはなると思うが、地域の盛り上げのためにも１年に１回で良いので質の高い企画の立案をお願いしたい。

令和４年８月１５日

評価委員 小林 正樹 （元愛西市立西川端小学校長）

評価委員 高橋 寛直 （愛西市社会教育審議会副会長）

評価委員 高橋 和希 （市ＰＴＡ連絡協議会会長）

